



No. 148 2018年 12月

博物館だより

冬の博物館 1月11日(金)・12日(土) 1月7日から受け付けスタート!

寒い冬も 博物館で 化石を楽しもう

- ★雪中化石探検
- ★ミニ発掘ペンダントづくり
- ★足寄の野生動物のおはなし

**新年は7日(月)
に開館です**

8日(火)は休館日です



雪中化石探検

雪の中から化石やクリスタルがはいったカプセルを発掘

日時：1月11日(金)

- ①午前の部 10:00~11:30
- ②午後の部 13:30~15:00

1月12日(土)

- ③午前の部 10:00~11:30
 - ④午後の部 13:30~15:00
- (1日2回, 全4回です)

費用：500円(当日 受付でいただきます)

申込：1月7日 午前9時から
博物館まで電話(0156-25-9100)
または来館で。

人数：各回先着10名

【小学3年生以下は保護者が同伴してください】

※ 参加者と保護者の入館は無料です。



ペンダントづくり

化石やクリスタルをつかったペンダントづくり
年ごとにレベルアップ

あしバスにのろう

停留所「動物化石博物館前」は
博物館駐車場の入り口にあります。

発着時刻は

9:02
10:57
13:22
15:17
17:12 です。

平日・土曜日に運行します。

※1月11・12日は、9時に開館します。

足寄動物化石博物館 フォストリーあしよる

指定管理者 NPO法人 あしよるの化石と自然

〒089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 TEL 0156-25-9100 FAX 0156-25-9101

staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp (博物館だよりpdf版あり)

No. 148

2018年 12月12日発行
(年4回発行)

足寄動物化石博物館20年の年に

展示室に「新骨格」を設置

泳ぐアショロア

足寄で最初に発見された化石「アショロア」。泳ぐ骨格が展示室に設置されました。

デスモチルスをはじめとする束柱類は、長い間がっしりしたアシの骨（四肢骨）に影響されて、さまざまな体形が提案されてきました（展示室「気屯標本」）。しかし、足寄動物化石博物館の研究により「泳ぐ姿」が相応しいことが骨格においても判明しました。



展示室に設置された「海底に向かって泳いできたアショロア」【背景の絵は海底を移動している様子】

四つ足クジラ 2体

クジラは陸から海に進出した。その経過を示す骨格を「クジラ・エリア」に設置しました。

パキスタンで見つかったおよそ5000万年前の初期のクジラの骨格パキケトウスとアンブロケトウス。

「陸から海に入るとこんなかっこう」？ 納得できますか？

泳ぐデスモチルスやアショロアとくらべてみてください。



左：パキケトウス、右：アンブロケトウス

足寄動物群束柱類化石 町指定文化財に

足寄で発見される化石の元の動物たちを「足寄動物群」と呼んでいます。原始的な束柱類（アショロアとベヘモトプス）とクジラ類（30体ほど）が確認されています。このうち束柱類化石2標本＝アショロア（AMP21）とベヘモトプス（AMP22）が、11月に開かれた町教育委員会で、文化財に指定されました。「足寄石灰華半ドーム（シオワッカ）」続いて、第2号・第3号（上記の順に）となります。

開館以来の建物改修

竣工から21年となった足寄動物化石博物館。壁の膨らみ・玄関に向かう歩道のコンクリート破損など傷みが目立つようになりました。2015年の『足寄町第6次総合計画』に「補修」がとりあげられ、今年度実施されました。

◇玄関までの歩道「謎解きの道」がゴムチップの舗装になりました。歩道の照明が新しく・明るくなりました。（写真⇒）

◇多目的トイレに「オストメイト」が設置されました。

◇建物の傷みが手当され、「目立たなく」になりました。

◆駐車場と周辺道路の街灯改修は次年度以降です。



記念講演会は大盛況

8月5日に、「開町110年・北海道150年」の冠をいただき「足寄動物化石博物館開館20年記念 恐竜講演会」を開催しました。北海道大学総合博物館の小林快次さんを迎えて「恐竜研究最前線」をお話しいただきました。

<20周年だから？ 恐竜だから？ 小林さんだから？> とにかく予想をうわまわる大勢の参加で、会場の銀河ホール21はあふれてしまいました。東京や京都など本州からこの講演会を目指してこられた家族もありました。講演のあとのサイン・握手会も長い行列でした。



壇上で参加者の質問に答える小林快次さん

2019年の干支えとは「亥」、動物はイノシシ

「世界のイノシシ 頭骨展」



12年前からはじめた「干支動物展」。一週りして、2回目の亥：イノシシです。

- ◇ニホンイノシシ〔兵庫県〕
- ◇リュウキュウイノシシ〔沖縄県〕
- ◇イボイノシシ〔アフリカ〕
- ◇バビルサ〔インドネシア〕
- ◇ペッカーリー〔北アメリカ〕
- ◆ブタ（ヨークシャー）
- ◆ブタ（ランドレース）
- ◇イノブタ〔足寄町〕

の頭骨が並びます。（◆は家畜）

写真は、足寄産のイノシシ？ ブタ？？逃げだしたイノブタの頭骨です。平成の初め頃には、「野生のイノブタ」がいた。

ミニ発掘プレミアム 冬版

小鉢の中は、「豚の角煮」のような石灰岩。名づけて「猪肉石ちよにくいし」。亥年にちなんで、用意しました。

箸置きは、青い石＝瑠璃るり＝ラピスラズリ。今年から来年にかけて東京・大阪で開かれるフェルメール展を“記念”しました。ご希望により、一面をみかくことができます。

個数に限りがあります。1月7日から提供します。材料費は、500円です。



足寄動物化石博物館の利用について

- 開館時間 午前9時30分～午後4時30分（入館締め切り時刻）
- 休館 毎週火曜日（祭日の場合は開館し、翌日またはその後の平日）
年末（12月30日から）・年始（1月6日まで）
※海の日から8月末までは、全日開館します。
- 料金 一般 400円、小中高・65歳以上 200円
幼児は無料。足寄町内の小中学生は無料。
※館の主催事業の際は、無料にすることがあり、その都度お知らせします。



「開館20年」の締めくくりです。足寄の束柱類が天然記念物（町指定）に。さらに、束柱類の新しい姿が足寄から世界に広がる・・・博物館の使命の一つが果たせそうです。